

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	北近畿豊岡自動車道 一般国道483号 和田山八鹿道路 <small>わだやまようか</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局		
起終点	自：兵庫県養父市八鹿町高柳 至：兵庫県朝来市和田山町市御堂 <small>やぶ ようちようたかやなぎ あさこ わだやまちょういちみどう</small>	延長	13.7km				
事業概要	<p>北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する全長約70kmの高規格幹線道路である。</p> <p>和田山八鹿道路は、北近畿豊岡自動車道の一部を構成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携し、地域の活性化、第3次救急医療機関へのアクセス向上、災害時の交通確保、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ること等を目的に計画された道路である。</p>						
H9年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手	H18年度工事着手				
全体事業費	1,011億円	事業進捗率	約50%	供用済延長	-		
計画交通量	15,600台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/(事業全体)	373/ 1,042億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	1,173/1,173億円	基準年 平成23年
	(残事業)	3.1	事業費: 295/ 964億円 維持管理費: 78/ 78億円	走行時間短縮便益: 947/ 947億円 走行経費減少便益: 153/ 153億円 交通事故減少便益: 73/ 73億円			
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量 : B/C=1.0~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.8~3.5 (交通量 ±10%)</p> <p>事業費 : B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.9~3.4 (事業費 ±10%)</p> <p>事業期間 : B/C=1.1~1.2 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=3.1~3.2 (事業期間±20%)</p>						
事業の効果等	<p>①地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域ネットワークを形成することにより、所要時間が短縮し、地域経済の基盤形成及び活性化を支援すると期待される。 <p>②災害時における代替路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時における物資輸送や緊急搬送の為に代替路として期待できる。 <p>③救急医療への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次救急医療機関へのアクセスが向上し、救急医療活動への支援が期待される。 朝来市～第三次医療施設（公立豊岡病院）への所要時間が短縮する。(58分→55分) <p>④交通混雑の解消及び交通安全の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備により交通転換が図られ、交通混雑の緩和及び現道の交通事故減少が期待できる。 <p>⑤主要な観光地へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (城崎温泉：観光入込客数：76.1万人/年) 						
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> 北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会 (S63.10設立 豊岡市他関係首長で構成) より早期整備の要望を受けている。 <p>兵庫県知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道483号北近畿豊岡自動車道（約70km）は、県の重要施策である「高速道六基幹軸」の日本海太平洋軸を構成しており、舞鶴若狭自動車道、播但連絡道路及び鳥取豊岡宮津自動車道と結節することにより、環日本海地域と関西都市圏の連携・交流を強化するとともに、県内唯一の高速道路空白地域を解消する極めて重要な道路である。 また、但馬地域唯一の3次救急医療機関である公立豊岡病院へのアクセス性向上や災害時など緊急時における輸送路の確保など、医療や防災面においても大きな効果を発揮する道路であり、先の東日本大震災を踏まえ、北近畿豊岡自動車道の早期整備に対する期待は一層高まっている。和田山八鹿道路の2車線供用により、北近畿豊岡自動車道全線の約7割が供用することとなるが、関西都市圏から豊岡中心市街地や但馬海岸等へは、八鹿以北で混雑の著しい国道312号等の一般道路を経由せざるを得ない状況にある。 このような中、昨年10月には山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定され、 						

環日本海地域と関西都市圏との結びつきはこれまで以上に重要となっている。

- ・このため、北近畿豊岡自動車道は、県が進めている鳥取豊岡宮津自動車道との結節が不可欠であり、本道路の平成24年秋の2車線供用と合わせて、八鹿日高道路、日高豊岡南道路の事業推進、さらには豊岡道路についても、早期に都市計画決定手続きに着手できるようお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道483号和田山八鹿道路」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり継続でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

但馬地域では、自動車保有台数が高く、自動車への依存が高い。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成9年度に事業化し、用地取得は完了。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、平成24年度の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、橋梁における新技術の採用や円山川からの河道掘削土を八鹿氷ノ山ICなどの盛土に流用する等、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

再評価結果(平成24年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	北近畿豊岡自動車道 一般国道483号 和田山八鹿道路 わだやまようか やぶ ようか よちやうたかやなぎ	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県養父市八鹿町高柳 あさこ わだやま よちやういちみどう 至：兵庫県朝来市和田山町市御堂	延長			13.7km

事業概要図

【位置図】



【概要図】

